

緊急空洞調査による道路下の空洞について

道路下の空洞調査の結果、空洞の可能性のある箇所が確認されたため、掘削により目視確認し、緊急の修繕を行いました。

1 経緯

- 令和7年2月15日(土)に路面下空洞探査車により現地調査を行った箇所について、令和7年2月28日(金)にデータ解析の結果、異常波形を確認
- 同日夜、道路を掘削し、空洞を目視により確認
- 直径60cm、深さ50cmの小規模な空洞が確認されたが、直ちに陥没に至る状況ではなかった
- 確認後、すみやかに埋戻し、舗装の仮復旧を行い、交通の安全を確保

2 場所

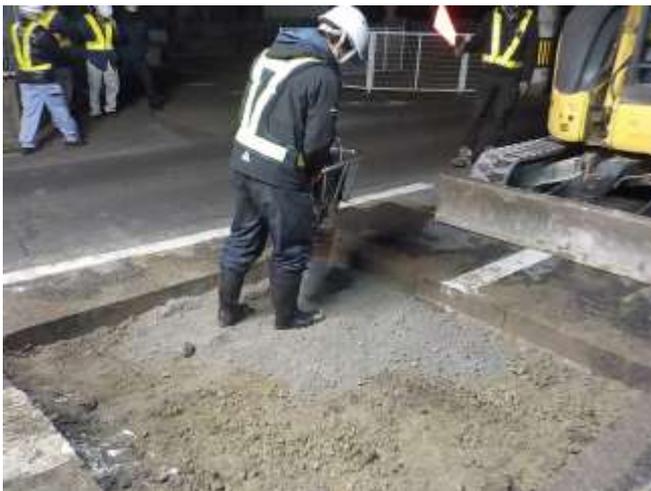
- 岡山市北区清輝橋三丁目9-15付近(下図参照)
- 道路下約2.8mの深さに内径2.4mの幹線管きよが埋設されている路線



3 空洞の状況



現場写真(開削状況)



現場写真(作業状況)



現場写真(復旧状況)

4 原因と今後の対応

- 平成 30 年に管内目視調査を実施している路線で、結果は比較的良好であった
- 直ちに破損することは考えられないが、下水管に起因する空洞であるか確認するため管内調査を実施する
- 仮復旧の舗装については、後日、本復旧を行う

【問い合わせ先】

岡山市 下水道保全課 岡田・安田・齊藤 直通086-803-1490 内線4932・4933